



《将来に向けた取組方針》

東洋紡グループは、生物多様性が持続可能な社会に欠かせないものと認識しています。人と地球に求められるソリューションを創造し続けるグループとして、自らの事業活動が生物多様性保全に与える影響を理解し、さまざまな活動を通じて3つの多様性（種、遺伝子、生態系）の保全に取り組みます。

- ・事業活動が生物多様性に与える影響の把握、負の影響の回避、最小化への取組み
- ・バリューチェーン全体における生物多様性保全への配慮
- ・社会貢献活動等による保全活動の推進
- ・環境配慮製品の開発推進
- ・生物多様性に関する国内外の取り決めの順守

〈具体的取組み事例〉

1. 事業活動と生物多様性の関連性

【リスク・機会】マップの作成

製品等の設計・開発から廃棄・リサイクルまでの事業活動のライフサイクルにおいて、私たちの事業活動と生物多様性の関連性を、リスクと機会の両方から整理しマップにしました。

2. 地域環境保全活動

事業所・工場では、近隣の生態系を保全するため隣接する地域を定期的に清掃しています。

3. 生態系保全活動

宮崎県にある社有林は植生自然度が高く、クマタカなど絶滅危惧種を含む希少な動植物が生息・生育しています。当社はこれを「綾の森」と命名し、持続可能な森林管理を行い、希少動物の生息環境の保護を図っています。

〈目標と取り組み〉

生物多様性保全活動における東洋紡グループの中・長期および短期目標を設定し、2022年度より取り組みを開始しました。

〈社会に向けたメッセージ〉

より良い地球環境の実現を目指し、社会や地域における環境保護や生物多様性保全活動への支援参画に積極的に取り組みます。



岩国事業所
海岸の清掃活動



日本エクスラン工業㈱
川岸の清掃活動



宮崎県「綾の森」
生態系保全活動